

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	遠山霜月祭の映像・刊行物作成事業	会計	一般会計	事業No.	821	施策順No.	29-009	
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-6-11-3			
施策	29 ふるさと意識の醸成	事業期間	開始	21	終了	23	課等名	美術博物館

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 遠山の霜月祭						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	1 伝承文化の保存継承 2 伝承文化の価値を広く知らしめる							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		映像記録DVD・報告書(種)			5	8	8	2	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	和田・木沢の映像記録を地元南信濃遠山霜月祭保存会と協力して達成できた。また、遠山常民大学と共同して木沢地区の報告書を発刊できた。これで飯田市唯一の国重要無形民俗文化財である遠山霜月祭について映像と文字の両方による記録が完全にそろった。基礎的な記録事業は十分に達成できた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>国指定重要無形民俗文化財である「遠山の霜月祭」について、映像と文字による完全記録を製作し、伝承文化の保存継承に役立てるとともに、その重要性を内外に広く知らしめる。具体的には、つぎの3つからなる。</p> <p>1 上村4箇所の映像編集と活用(上町・中郷・程野・下栗各2時間のハイビジョンDVD)→(県合併特例交付金)平成21年度 2 南信濃7箇所等の報告書作成(『遠山霜月祭(南信濃1)』・『遠山霜月祭(南信濃2)』)→(県合併特例交付金)平成21・22年度 3 南信濃2箇所等の記録映像の撮影・編集と活用→《文化庁ふるさと文化再興事業》平成22年度 *南信濃遠山霜月祭映像記録委員会が申請。美博も参画・協力する。 4 南信濃2箇所の映像編集 *南信濃遠山霜月祭映像記録委員会の事業に美博も参画・協力する。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 『遠山霜月祭(南信濃②)』(木沢地区篇)の編集・刊行(祭り6箇所分) 上村遠山霜月祭DVD・南信濃報告書に関わる上映会・解説会等の開催を含む 2 南信濃霜月祭りのハイビジョン映像記録撮影<文化庁ふるさと再興事業> *「南信濃遠山霜月祭映像記録作成実行委員会(仮称)」が文化庁の補助を受けて実施。 美博は実行委員会に参画し協力した。 事業年度はH22・23。	1 出版する刊行物 2 撮影する箇所	1 1冊(6箇所) 2 2箇所
23年度実施計画	1 南信濃霜月祭りのハイビジョン映像記録の編集 *「南信濃遠山霜月祭映像記録作成実行委員会」が文化庁の補助を受けて実施した撮影映像を編集する。 美博は実行委員会に参画し協力する。	1 2種類	1 2枚

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	0	0	(県)市町村合併特例交付金10/10 (そ)諸収入
	特定財源内訳、補足事項	県支出金	1,860	1,850	
		起債			
		その他	140	0	
		一般財源		141	
	計(A)	2,000	1,991	0	
正規職員所要時間					
臨時職員等所要時間					
人件費計(B)			0		
トータルコスト A+B			1,991		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・上村地区では既存のハイビジョン映像作成への支援を求める声が市政懇談会でも挙がっている。 ・南信濃でも上村と同様な報告書と記録映像の必要性を訴える声がある。 ・遠山旧2村の遠山霜月祭など伝統文化の継承保存を危ぶむ声がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	1 地域を知る 2 地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムトス指標	1 飯田の自然と文化を学んでいる市民の数(延べ人数) 1 ふるさと(飯田)を誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	遠山の霜月祭りについて、文字と映像の両方による記録が完成した。今後の祭り伝承に役立つとともに、この祭りを広く知らしめる基盤ができたといえる。		
	後期に向けた課題	報告書と映像DVDを有効に活かす機会を設けるなど工夫が必要となる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	地元保存会や自治会、遠山常民大学と協力して事業を推進した。		
	後期に向けた課題	祭りの継承に役立て、祭りを広く知ってもらうためには、今後とも地元保存会や自治会との協力関係が必要となる。		
コストを削減するためにどのような工夫をしましたか	4年間の振り返り	国文化庁・県合併特例交付金を導入した。		
	後期に向けた課題	H23に作成する和田・木沢2箇所のDVDについては、地元保存会を中心とした実行委員会が主体となって推進し、経費はその売り上げで回収する計画である。当館も関係機関への寄贈と一般頒布に協力していく。先の上村のDVDについては今後との頒布に努めていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	「遠山の霜月祭」は飯田市唯一の国指定重要無形民俗文化財である。そのため、飯田市としてこの祭りの継承とPLに経費を投入して努めることは大切である。ただし、上村のDVDについては当初予定にない支出であったが、結果としてクオリティーの高い作品が完成し、この祭りの継承とPLに効果的であり、適切であったといえる。		
	後期に向けた課題	DVDの販売はともかく、伝統文化の継承とPL(教育普及活動)に努めていく必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①上村遠山霜月祭保存会・南信濃遠山霜月祭保存会・各自治会・各まちづくり委員会・遠山常民大学 ②協力関係をもって事業を推進した。		
	後期に向けた課題	①上村遠山霜月祭保存会・南信濃遠山霜月祭保存会・各自治会・各まちづくり委員会・遠山常民大学 ②伝統文化の保存継承と祭りのPL(教育普及)のために一層の協力関係をもって事業を推進することが必要となる。		
全体を通じて	4年間の振り返り	短期間の内に文字と映像による記録が完成できたことは大きな成果といえる。		
	後期に向けた課題	完成品が有効に機能するためには、さらなる取り組みが必要である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--